

医療レーザー脱毛治療 治療同意書・説明書

Kei クリニック

院長 天海 恵子 殿

レーザー脱毛は、毛根のメラニン色素にレーザー光線を吸収させて、その熱で毛根周囲の細胞にダメージを与えるという治療方法です。

【照射前の注意】

- ・ 毛抜き禁止 レーザー脱毛治療中は、毛穴に毛がない状態ではレーザーが反応しませんので、毛抜きやワックスは使用しないで、自己処理は、カミソリやシェーバーでの処理(剃毛)のみにして下さい。
- ・ 剃毛 照射部位の前日に必ず剃毛してからご来院下さい。毛が伸びた状態では、レーザーの効率が悪くなるだけでなく、皮膚面に火傷を生じる可能性もあり大変危険です。クリニックで剃毛を行う場合は剃毛料が別途かかります。
- ・ 日焼けの禁止 日焼けした状態では熱傷を生じるリスクが高くなります。なるべく日焼けをしないように日焼け止めなどをご使用ください。ただし、レーザー治療前には日焼け止めや、ファンデーションをおとして頂く必要があります。また、レーザー照射後は紫外線の影響を受けやすくなるため、日焼けの予防が必要になります。

【照射間隔】 毛髪は一定のサイクル(毛周期)で生えかわります。照射間隔は 1~2 カ月をお勧めいたします。

【照射時疼痛】 照射時は熱感やゴムではじかれるような痛みがあります。痛みを我慢できない方には、当院で表面麻酔(クリームやテープ)を処方いたします。(有料)

【照射後の注意】

- ・ 入浴 照射当日は、シャワー浴は可能ですが、湯船につかるのは控えてください。
- ・ 保湿 照射後はお肌が乾燥しやすくなるので保湿を行ってください。
- ・ 残毛 照射後に毛穴に毛が残る場合がありますが、徐々に自然に抜け落ちます(個人差があります)。

- ・ 毛のう炎 毛孔に炎症が生じることがあり、場合により外用剤、内服治療が必要になる可能性があります。
- ・ 熱傷 メラニンをターゲットにする光を用いた治療ですので、肌の色によって軽い熱傷が生じることがあります。
- ・ 炎症性色素沈着 皮下で炎症が生じることにより一時的に照射部位がまだらに色素沈着となることがあります。内服薬や外用薬で早く改善するようにケアをします。通常は半年程度で落ち着きますが、体質によっては2～3年かかる人もいます。
- ・ その他 治療5～7日後にきびが悪化する場合があります。その場合は当院で外用薬または内服薬を処方しますので早めに来院してください。
- ・ 光のアレルギーのある方は照射部が赤く腫れる場合があります。その場合は前後に抗アレルギー薬を内服してもらったり、ステロイドを外用していただき対応します。
- ・ 照射部がまれに色素脱失となる場合もあります。通常は一過性のもので半年程度で改善します。

【その他の注意事項】

- ・ 妊娠中、あるいはその可能性がある方はご遠慮下さい。
- ・ レーザー脱毛は永久に無毛状態を保つことができるわけではなく、若干の毛髪の再生が生じます。

【硬毛化について】ごくまれに、レーザー照射後に毛髪が濃くなる硬毛化現象が生じることがあります。うなじや背中上部、二の腕上部、肩、フェイスラインなどの産毛の範囲に多い傾向があります。設定を調整しながら照射しますが、期間や回数が多くかかる場合があります。

以上ご了承の上、施術をお受け下さい。

医療レーザー脱毛・施術申し込み・同意書

kei クリニック 院長殿 私は、上記内容を理解し、施術を受けることに同意いたします。

令和 年 月 日

氏名

保護者（未成年の場合）

印